

第8次 鹿角市社会教育行政中期計画

(令和3年度～令和7年度)

令和3年3月

鹿角市教育委員会

目 次

第1章 策定にあたって

1	第8次鹿角市社会教育行政中期計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけと期間	1
3	推進体制	1
4	評価体制	1

第2章 現状と課題

1	社会教育の現状	2
2	第7次計画の評価と課題	3

第3章 基本理念、基本目標及び施策

1	目指すまちづくりの将来像	9
2	第8次鹿角市社会教育行政中期計画基本目標	9
3	施策の体系	10
4	施策の展開	11
	基本目標Ⅰ 社会情勢に対応した生涯学習推進・情報発信体制を構築し、社会教育関係団体等との連携を強化します	11
	基本目標Ⅱ 地域を担う人材を育成します	12
	基本目標Ⅲ 地域・学校・家庭が連携し、子どもたちの育ちと学びを支援します	13
	基本目標Ⅳ 地域特性や各世代に対応した学習と活動を支援します	14
	基本目標Ⅴ 文化芸術活動の振興と文化財の保存活用を推進します	15
	基本目標Ⅵ 誰もが尊重され、共に学びあえる地域社会の実現を目指します	16

第1章 策定にあたって

1 第8次鹿角市社会教育行政中期計画策定の趣旨

本計画は、生涯学習の理念※1の実現を目指し、社会教育※2に関する施策を体系的かつ計画的に推進するために策定するものです。平成28年度から令和2年度までの第7次鹿角市社会教育行政中期計画のもと実施した施策の検証や取組の評価等を踏まえ、向こう5年間における本市の社会教育の指針を定めるとともに、具体的な施策の方向性を示すため、本計画を策定するものです。

2 計画の位置づけと期間

本計画は、第7次鹿角市総合計画を上位計画とする個別計画です。総合計画との整合性を図りながら、生涯学習の理念に沿った社会教育の推進に関する計画とします。

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

3 推進体制

本計画の推進にあたっては、教育委員会と、市の社会教育関係部局が中心となって推進します。また、地域づくり協議会や国・県・他市町村とも連携し、効果が得られるようにします。

4 評価体制

本計画に掲げる事業は、進捗状況を毎年度把握し、社会教育委員の会議で報告を行い、助言等を経て次年度の取組に反映させることとします。

本計画に掲げる取組成果を点検するため、目標ごとに「成果指標と目標値」を設定します。また、目標値は本計画の最終年度である令和7年度を目標として設定します。

※1 生涯学習の理念

（教育基本法第3条）

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

※2 社会教育

（社会教育法第2条（抜粋））

学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう。

第2章 現状と課題

1 社会教育の現状

近年、少子高齢化や核家族化、地域コミュニティの衰退など、地域の活力低下が懸念され、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

このような状況下にあつて、人と人とのふれあいや絆づくり、地域づくりの重要性は以前に増して高まっており、より高い志を持った人材の育成を目指し、地域コミュニティそれぞれの現状を詳細に把握し、地域の魅力や将来の在り方について地域住民自ら考え、活力の維持と活性化に向けた取組みが必要となっています。

また、子どもたちがふるさとを知り、愛着と誇りを持つことで、将来、地域づくりに参画していく「知の循環型社会※3」の確立や、地域学校協働活動※4に地域住民等が積極的に関わることで、地域の教育力向上を図ることが求められています。

一方、自然環境や社会情勢の変化、災害の多発化や感染症の流行等に伴う新たな課題が生じているほか、進化する情報通信技術への対応等、求められる学習ニーズや社会の要請も多様化しています。

社会教育においては、常に時代をとらえつつ、未来を見据えた学びを提供していく必要があります。

※3 知の循環型社会

(平成20年中央教育審議会答申(抜粋))

持続可能な社会では、各個人が社会の構成員として、人間・社会・環境・経済の共生を目指し、生産・消費や創造・活用のバランス感覚を持ちながら、それぞれが社会で責任を果たし、社会全体の活力を持続させようとする「循環型社会」への転換が求められる。したがって、各個人が、自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献するといった「知の循環型社会」を構築することは、持続可能な社会の基盤となり、その構築にも貢献するものと考えられる。

※4 地域学校協働活動

地域の高齢者、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を指す。

2 第7次計画の評価と課題

本市では、第6次鹿角市総合計画が掲げる「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」の実現に向け、第7次鹿角市社会教育行政中期計画において「地域をつくる ひとづくり」を基本理念に掲げ、次の6つの基本目標のもと、生涯学習により目指す地域の姿の実現に向け、取組を進めてきました。

基本目標に対する評価と課題は以下のとおりです。

基本目標	I 生涯学習推進体制の充実と地域づくり協議会等との連携を強化します
評価	○文化の杜交流館の4つの機能（ホール、市民センター、図書館、未来センター）の連携 ○関係団体との連携、社会教育事業の共働での推進 ○地域づくり協議会等との連携強化
課題	●社会的課題に対応した学習機会の充実 ●生涯学習奨励員活動の活性化 ●広報活動 ●地域づくりを推進する人材の育成

成果指標	H26	目標値(H32)	実績値(R1)
生涯学習・社会教育講座参加者数	18,294人	22,000人	15,774人

文化の杜交流館の複合施設の利点を生かした連携事業の推進や、地域学校協働活動推進事業における社会教育関係団体との連携、地域づくり協議会運営委員会への参画等、連携強化が進み、出前講座をはじめ、講座メニューの見直し等、社会情勢を踏まえた学習機会の充実等が図られています。一方で生涯学習奨励員活動の固定化や、講座の内容についても地域づくりを担う人材育成では引き続き取組を強化する必要があります。広報活動の効果も限定的で、成果指標に対する達成度は72%となっています。

基本目標	Ⅱ 利用しやすい読書環境の充実を図ります
評価	○関係機関と連携した読書活動推進事業の実施 ○読書を通した多様な学習活動の支援
課題	●学校図書館への積極的な支援

成果指標	H26	目標値(H32)	実績値 (R1)
貸出総数	50,968冊	130,000冊	123,583冊

平成27年度からの鹿角市立図書館への指定管理者制度導入以降、主催事業のみならず、配本所の増設や関係機関が主催するイベント等での出張貸出や出張展示等、連携事業の増加により、読書活動は多様な広がりを見せています。ボランティアによる読み聞かせ活動や、図書館を会場にしたすべての世代を対象とした学習支援等も活発に行われています。花輪図書館のリニューアル効果もあり、図書館利用者数の増加とともに、貸出総数も目標に対し95%の達成率となっています。

一方、学校図書館への支援については、団体貸出や図書整理時の学校支援ボランティアの活動にとどまり、司書教諭や学校図書館担当教職員との連携等、より一層子どもたちの読書環境の充実を図る必要があります。



基本目標	Ⅲ 子どもたちの育ちと学びを支援する体制づくりを進めます
評価	○地域住民が教育活動に参画できる体制づくり（地域学校協働本部） ○地域の人材、教育資源、自然、遺産などを活用した学習活動の拡充 ○保護者の学習機会の拡大
課題	●地域全体で子育てを支える体制の強化

成果指標	H26	目標値(H32)	実績値 (R1)
生涯学習・社会教育関係事業における地域ボランティア活動への参加延人数	2,085人	2,500人	1,540人
福祉担当部署や子育て支援関係機関、団体等と連携した学習機会・事業の提供数	2事業	4事業	5事業

平成30年度に鹿角市地域学校協働本部※5を発足させ、学校と地域が連携・協働して子どもたちの多様な学びを支える体制を整備しました。地域学校協働活動推進員※6が橋渡し役となり、地域の特色ある伝統芸能や歴史文化、自然を学習活動に取り入れ、地域住民が先生となり学びの場で活躍するケースも増加しています。また、高校生ボランティアの活動は、ボランティアに対する学校と受け入れ団体双方の意識の高まりから、参加人数が増加しています。

一方で、学校支援ボランティアの人数は伸び悩みが見られるほか、家庭教育支援は保護者向けの講座の実施にとどまっており、活動の周知や地域全体で子育てを支える体制づくりが課題となっています。

※5 地域学校協働本部

従来の学校支援地域本部等の地域と学校の連携体制を基盤として、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制。

※6 地域学校協働活動推進員

地域学校協働活動において、地域と学校との連絡調整、情報の共有、地域住民等へ学校との協働活動を呼びかける等、地域とも学校とも良好な関係をつくり、信頼関係を築きながら活動を進めるコーディネーターとしての役割を持つ。

基本目標	Ⅳ 地域特性や各世代に対応した学習と活動を支援します
評価	○子どもたちの交流・体験活動の推進、地域の特性や文化を学習する 機会の提供 ○高齢者層における健康維持、生きがいを高める学習機会と学習活動 の充実
課題	●地域づくりを担う人材や団体の育成 ●地域間ネットワークづくりの推進 ●地域に根差した青年活動や研修機会の提供

成果指標	H26	目標値(H32)	実績値 (R1)
同世代交流・世代間交流・文化交流の活動数	31事業	35事業	33事業
地域活動への参加人数	278人	300人	386人
地域活性化活動団体数	3団体	4団体	1団体
老壮大学等申込者数	1,972人	2,500人	1,524人

市民センターを中心に、同世代・世代間の交流を進める幅広い事業を展開しています。また、高齢者層では、出前講座の健康メニューの積極的な活用が見られ、生きがいづくりや仲間づくりのための学習活動が盛んになっています。

一方、青年会活動は青年層の地域づくり活動への参加が限定的で、また、働く高齢者の増加も見られるなど、老壮大学等の申込者数が伸び悩んでいます。各世代の途切れない活動や世代間交流をより進めることにより、生涯における学びの場づくり、将来の地域づくりにつなげる必要があります。

基本目標	V 芸術文化活動の推進と文化財の保存・伝承を支援します
評価	○芸術性と文化水準の高い多様な公演・学習機会の提供 ○市民の芸術文化活動支援 ○文化財の保存活用と学習機会の提供 ○民俗芸能の保存伝承と人材育成支援
課題	●芸術文化関係団体の支援、指導者育成の推進 ●地域の芸術文化関連団体の活動について市民に周知し、活動成果に共感し、高めあう発表機会の提供

成果指標	H26	目標値(H32)	実績値 (R1)
1 年間に芸術鑑賞に親しんだ割合	-	30.0%	41.0%
郷土の歴史や文化を活用した学習機会・事業の提供数	26 講座	31 講座	32 講座

文化の杜交流館の開館により、芸術性と文化水準の高い公演が身近に鑑賞できるようになり、市民の芸術鑑賞に親しんだ割合は目標値を10%以上上回っています。

また、文化ホールは、市民団体の活動の発表や、民俗芸能に対する市民の理解を深める場として活用されています。

そのほか、歴史民俗資料館や先人顕彰館、大湯ストーンサークル館を中心に、郷土の歴史や文化、文化財に関する講座や企画展示を行っているほか、文化財保護に向けて保存団体への支援を実施しています。

今後は文化芸術活動のさらなる発展のため、指導者や後継者の育成、市民への文化芸術関係団体の活動周知と発表機会の充実が必要です。また、世界文化遺産登録を目指している大湯環状列石の保存と活用に向けて、学びの機会の提供や情報発信など、積極的に進める必要があります。

基本目標	VI 親しみやすい生涯スポーツ環境を整備します
評価	○スポーツによるまちづくりの推進 ○スポーツ施設の維持管理と有効活用
課題	●ライフスタイルに応じたスポーツ活動の活性化 ●総合型地域スポーツクラブの支援 ●スポーツ関係団体との連携強化、指導者養成、トップアスリートの育成

成果指標	H26	目標値(H32)	実績値 (R1)
週1回以上の頻度で運動する市民の割合	58.1%	65.0%	50.1%

全国規模のスキー大会、駅伝大会が毎年開催され、恵まれたスポーツ環境・施設を生かした「スキーと駅伝」のまちづくりが展開されています。

一方で、気軽にスポーツを楽しむ地域に根差したスポーツクラブの支援や、ライフスタイルや世代に応じたスポーツ活動の活性化は、成果指標の週1回以上の頻度で運動する市民の割合が5年前より8%低下していることから、市民の生きがいつくりや健康づくりの観点からも取組の強化が必要です。

また、将来にわたるスポーツによるまちづくりのためにも、スポーツ関係団体との連携強化や指導者育成、トップアスリート育成を進める必要があります。



第3章 基本理念、基本目標及び施策

1 目指すまちづくりの将来像

市の最上位計画に位置づけられる第7次鹿角市総合計画において掲げる将来都市像、まちづくりの基本戦略及び経営戦略は次のとおりです。

＜将来都市像＞ ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角

将来都市像の実現に向けて、5つの基本戦略と3つの経営戦略を定めています。

＜基本戦略＞

- 1 活力を生む地域産業・生業を支える
- 2 元気で健やかな暮らしを支える
- 3 快適で安らぎのある暮らしを守る
- 4 暮らしの安全・安心を高める
- 5 未来に羽ばたく人材を育てる

＜経営戦略＞

- 1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む
- 2 「世界遺産のまち」をつくる
- 3 まちの経営力を高める

2 第8次鹿角市社会教育行政中期計画基本目標

上記の第7次鹿角市総合計画の基本戦略及び経営戦略のうち、第8次鹿角市社会教育行政中期計画は「基本戦略5 未来に羽ばたく人材を育てる」、「経営戦略2 『世界遺産のまち』をつくる」を重点的に取り組む戦略と位置づけます。

本市の特長を生かした社会教育を進めるため、本計画における基本理念及び基本目標を次のとおりとします。

なお、第7次計画の基本目標であった「親しみやすい生涯スポーツ環境の整備」については、鹿角市スポーツ推進計画に関連する目標が定められており、本計画からは除くものとしします。

<基本理念>

地域資源を生かし 豊かな学びで人と地域を育む

<基本目標>

- I 社会情勢に対応した生涯学習推進・情報発信体制を構築し、社会教育関係団体等との連携を強化します
- II 地域を担う人材を育成します
- III 地域・学校・家庭が連携し、子どもたちの育ちと学びを支援します
- IV 地域特性や各世代に対応した学習と活動を支援します
- V 文化芸術活動の振興と文化財の保存活用を推進します
- VI 誰もが尊重され、共に学びあえる地域社会の実現を目指します

3 施策の体系

【基本理念】

【基本目標】

【施策の方向】

地域資源を生かし 豊かな学びで人と地域を育む	I 社会情勢に対応した生涯学習推進・情報発信体制を構築し社会教育関係団体等との連携を強化します	①社会教育関係団体・福祉関係団体・自治会等、あらゆる団体との連携により、生涯学習推進体制を強化します ②インターネットの活用により、情報発信体制を強化します ③社会教育施設等を活用し、施設間の連携による生涯学習環境の充実を図ります ④読書を通じた多様な学習活動を推進します
	II 地域を担う人材を育成します	①いつでも、どこでも、誰でも、学びたいときに学ぶ人を支援します ②社会的課題に対応した学習機会の充実、活動を支援します ③市民の主体的な地域活動への参画を支援します
	III 地域・学校・家庭が連携し子どもたちの育ちと学びを支援します	①子どもたちの学びを支える地域学校協働活動を推進します ②学校運営協議会と地域学校協働本部が連携した活動を展開します ③家庭教育支援の取組を強化します ④子育て支援関係団体と連携した取組を拡充します ⑤青少年の健全育成を支える市民活動を推進します
	IV 地域特性や各世代に対応した学習と活動を支援します	①同世代交流・世代間交流を進め、人的ネットワークの拡充を支援します ②地域の歴史や伝統、文化、人材を生かした学習活動を推進します ③高齢者の生きがいづくりや仲間づくりを支援します ④学びの成果を地域に還元し、次世代に継承する活動を支援します
	V 文化芸術活動の振興と文化財の保存活用を推進します	①質の高い文化芸術に触れる機会を提供し、地域に根差した文化芸術活動を育成します ②文化芸術団体の活動活性化を支援します ③市民の文化財に対する意識の向上と認識を深めます ④民俗芸能の保存継承と人材育成を支援します ⑤文化財の保存継承と活用、情報発信を強化します
	VI 誰もが尊重され共に学びあえる地域の実現を目指します	①障がい児・者の学習活動を支援します ②共生社会に対する市民の意識向上を図ります ③日本語を母国語としない市民の日本語及び日本文化に対する学びを支援します

4 施策の展開

基本目標を達成するための施策の方向、主な取組及び成果指標は次のとおりです。

【基本目標Ⅰ】

社会情勢に対応した生涯学習推進・情報発信体制を構築し、社会教育関係団体等との連携を強化します

＜施策の方向と主な取組＞

①	施策の方向	社会教育関係団体、福祉関係団体、自治会等、様々な団体との連携により、生涯学習推進体制を強化します
	主な取組	・県教育委員会、市長部局、地域づくり協議会、社会福祉協議会、子ども未来事業団等、様々な団体との連携事業の展開 ・福祉教育推進事業の支援
②	施策の方向	インターネットの活用により、情報発信体制を強化します
	主な取組	・ソーシャルネットワーキングサービスや動画共有サービス等、インターネットを活用した情報発信
③	施策の方向	社会教育施設等を活用し、施設間の連携による生涯学習環境の充実を図ります
	主な取組	・社会教育施設及び他分野施設との共通テーマによる事業の展開
④	施策の方向	読書を通じた多様な学習活動を推進します
	主な取組	・図書館事業の実施 ・学校や社会教育関係団体、子育て支援団体等との連携強化 ・移動図書館車の運行

＜成果指標＞

成果指標	R 1	目標値(R7)
インターネットを活用した講座の年間開催数	0 件	5 件
社会教育施設年間利用者数	2 7 8, 8 2 2 人	3 1 3, 3 0 0 人
図書館（移動図書館車含）	1 1 6, 0 3 0 人	1 3 0, 0 0 0 人
先人顕彰館	1, 4 8 6 人	1, 6 0 0 人
歴史民俗資料館	1, 6 1 9 人	1, 7 0 0 人
大湯ストーンサークル館	1 9, 2 0 7 人	3 0, 0 0 0 人
文化の杜交流館（図書館、未来センター、花輪市民センター除く）	1 4 0, 4 8 0 人	1 5 0, 0 0 0 人

【基本目標Ⅱ】

地域を担う人材を育成します

＜施策の方向と主な取組＞

①	施策の方向	いつでも、どこでも、誰でも、学びたいときに学ぶ人を支援します
	主な取組	・ だごさデモ出前講座のメニュー充実

②	施策の方向	社会的課題に対応した学習機会の充実、活動を支援します
	主な取組	・ かづの人財発掘講座の開催 ・ 市民センター、社会教育施設等における各種講座の開催

③	施策の方向	市民の主体的な地域活動への参画を支援します
	主な取組	・ 花いっぱい運動や声かけ運動等、市民の主体的活動の支援 ・ 高校生ボランティアの活動支援

＜成果指標＞

成果指標	R 1	目標値 (R7)
だごさデモ出前講座年間利用件数	1 5 2 件	1 7 0 件
市民センター新規サークル登録団体延べ団体数（5年累計）	7 団体	2 0 団体

【基本目標Ⅲ】

地域・学校・家庭が連携し、子どもたちの育ちと学びを支援します

＜施策の方向と主な取組＞

①	施策の方向	子どもたちの学びを支える地域学校協働活動を推進します
	主な取組	・地域学校協働活動推進事業の展開（学校支援、わくわく土曜教室、地域未来塾他）
②	施策の方向	学校運営協議会※ ⁷ と地域学校協働本部が連携した活動を展開します
	主な取組	・学校運営協議会との連携、合同研修会等の開催
③	施策の方向	家庭教育支援の取組を強化します
	主な取組	・家庭教育支援チームリーダー、サポーターの育成
④	施策の方向	子育て支援関係団体と連携した取組を拡充します
	主な取組	・家庭教育講座、子育て講座の開催
⑤	施策の方向	青少年の健全育成を支える市民活動を推進します
	主な取組	・青少年育成鹿角市民会議の活動支援

＜成果指標＞

成果指標	R1	目標値(R7)
地域学校協働活動におけるボランティア延べ人数	1, 179人	1, 250人
青少年育成鹿角市民会議の会員数	303会員	350会員

※7 学校運営協議会

学校、保護者、地域住民等がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。教育委員会が学校や地域の実情に応じて設置し、学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」という。

【基本目標Ⅳ】

地域特性や各世代に対応した学習活動を支援します

＜施策の方向と主な取組＞

①	施策の方向	同世代交流・世代間交流を進め、人的ネットワークの拡充を支援します
	主な取組	・各種市民センター事業の実施

②	施策の方向	地域の歴史や伝統、文化、人材を生かした学習活動を推進します
	主な取組	・ふるさと・キャリア教育※8における地域住民、企業の支援 ・地域学校協働活動への地域住民の参画支援

③	施策の方向	高齢者の生きがいをづくりや仲間づくりを支援します
	主な取組	・高齢者向け講座の充実（市民センター事業、出前講座等）

④	施策の方向	学びの成果を地域に還元し、次世代に継承する活動を支援します
	主な取組	・生涯学習奨励員の活動拡充 ・かづの人財発掘講座の開催

＜成果指標＞

成果指標	R1	目標値(R7)
生涯学習・社会教育講座年間参加者数	15,774人	18,000人
ふるさと・キャリア教育受入新規登録事業所延べ件数（5年累計）	1件	15件

※8 ふるさと・キャリア教育

将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身につけるとともに、ふるさと鹿角を自分が支えようとする強い気概を持った子どもたちを育成するため、ふるさとに根差した地域参加型のキャリア教育を推進するプログラム。

【基本目標Ⅴ】

文化芸術活動の振興と文化財の保存活用を推進します

＜施策の方向と主な取組＞

①	施策の方向	質の高い文化芸術に触れる機会を提供し、地域に根差した文化芸術活動を育成します
	主な取組	・文化の杜交流館を活用した事業公演、市民団体の利用促進

②	施策の方向	文化芸術団体の活動活性化を支援します
	主な取組	・市民参加型公演の開催

③	施策の方向	市民の文化財に対する意識の向上と認識を深めます
	主な取組	・社会教育施設における文化財関係講座等の開催

④	施策の方向	民俗芸能の保存継承と人材育成を支援します
	主な取組	・民俗芸能保存団体への助成と支援 ・民俗芸能フェスティバルの開催

⑤	施策の方向	文化財の保存継承と活用、情報発信を強化します
	主な取組	・特別史跡大湯環状列石を活用した各種事業の実施 ・歴史民俗資料館事業の実施 ・先人顕彰館事業の実施

＜成果指標＞

成果指標	R 1	目標値(R7)
一年間に芸術鑑賞に親しんだ割合	41.0%	45.0%
無形民俗文化財の保存を担っている団体の構成員数	1,849人	1,740人

【基本目標Ⅵ】

誰もが尊重され、共に学びあえる地域社会の実現を目指します

＜施策の方向と主な取組＞

①	施策の方向	障がい児・者の学習活動を支援します
	主な取組	・障がい児・者が参加しやすい生涯学習講座等の開催

②	施策の方向	共生社会※9に対する市民の意識向上を図ります
	主な取組	・体験型講座(車いす体験、パラリンピック競技体験等)の開催

③	施策の方向	日本語を母国語としない市民の日本語及び日本文化に対する学びを支援します
	主な取組	・日本語教室の開催

＜成果指標＞

成果指標	R 1	目標値(R7)
障がい児・者に配慮した生涯学習講座等の延べ提供数（5年累計）	—	20講座
日本語教室延べ参加者数	250人	280人

※9 共生社会

これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障がい者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会であり、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会。

第8次鹿角市社会教育行政中期計画

発行 鹿角市教育委員会 令和3年3月

編集 鹿角市教育委員会 生涯学習課
〒018-5292
秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1

電話 0186-30-0292

FAX 0186-30-1140